

## 令和5年度 八幡浜市立八代中学校 学校評価表

\* 「よくあてはまる」と「ややあてはまる」の割合を肯定率とする。分からない・回答できないは、分母に含まない。  
 \* 平均値は、「よくあてはまる→4 ややあてはまる→3 あまりあてはまらない→2 全くあてはまらない→1」として計算

	NO	対象	令和5年度（前期）項目	R4後期 肯定率	R5前期 肯定率	比較	R4後期 平均	R5前期 平均	比較	分析と対応
【教育目標】	1	教師	本校の教育目標である『共に「学び 思いやり 鍛え」輝く』の実践に努めている。	100%	100%		3.5	3.1		
	2	教師	学校で生徒のよさや可能性が発揮され、一人一人が輝く場面をつくっている。	95%	100%		3.3	3.1		
	2	生徒	自分のよさや可能性が発揮でき、諸活動に前向きに取り組んでいる。	90%	90%		3.2	3.2		
	2	保護者	学校ではお子さんのよさや可能性が発揮され、諸活動に前向きに取り組んでいる。	89%	89%		3.1	3.1		
	2	地域	生徒のよさや可能性が発揮され、諸活動に前向きに取り組んでいる。	100%	100%		3.5	3.5		
	3	教師	いじめ問題に対応し、居心地の良い学校づくりに努めている。	100%	100%		3.4	3.2		
	3	生徒	学校は、お互いのよさを認め合い、いじめのない居心地のよい学校づくりに取り組んでいる。	89%	91%		3.3	3.4		
	3	保護者	学校は、お互いのよさを認め合い、いじめのない居心地のよい学校づくりに取り組んでいる。	84%	88%		3.0	3.1		
	3	地域	学校は、お互いのよさを認め合い、いじめのない居心地のよい学校づくりに取り組んでいる。	100%	90%	↓	3.5	3.4		
	3	教師	いじめ問題に対応し、居心地の良い学校づくりに努めている。	100%	100%		3.4	3.2		
【家庭・地域との連携・協働】	4	教師	保護者や地域の方が、行事やその他の教育活動に参加しやすいような工夫に努めている。	95%	100%		3.4	3.2		○引き続き、アンケートや教育相談を充実し、更なる生徒理解や保護者との連携に努める。 ○5月からICTを活用することにより、教職員間の情報共有の効率化が図られた。全教職員で積極的な生徒指導を行いつつ、生徒の居場所づくりに努め、生徒の絆づくりをしっかりとサポートできる支援を行いたい。
	4	保護者	学校は、保護者や地域との関わりを多く持ち、温かい信頼関係を築いており、来校しやすい雰囲気がある。	89%	89%		3.2	3.2		
	4	地域	学校は、保護者や地域との関わりを多く持ち、温かい信頼関係を築いており、来校しやすい雰囲気がある。	100%	90%	↓	3.5	3.4		
	5	教師	教育活動に関する情報を、通信やホームページなどを通じて、家庭・地域に知らせるように努めている。	95%	88%		3.4	3.1		
	5	保護者	学校は、教育活動に関する情報を、通信やホームページなどを通じて、家庭や地域に知らせている。	94%	90%		3.3	3.3		
	5	地域	学校は、教育活動に関する情報を、通信やホームページなどを通じて、家庭や地域に知らせている。	93%	100%		3.6	3.5		
	6	教師	地域の人の協力を得て、教育活動を進めようと努めている。	90%	82%	↓	3.2	2.9		
	6	保護者	学校は、地域の人の協力を得て教育活動を進めようと努めている。	89%	92%		3.2	3.2		
	6	地域	学校は、地域の人の協力を得て教育活動を進めようと努めている。	92%	83%	↓	3.3	3.3		
	6	教師	地域の人の協力を得て、教育活動を進めようと努めている。	90%	82%	↓	3.2	2.9		
【学年・学級活動】	7	生徒	学校生活が楽しい。	89%	91%		3.4	3.4		○全体的に高い評価を得ている。生徒の主体性を重視した教育活動の推進を心掛けたい。  ○コロナ禍では対話や合意といったコミュニケーション能力が十分に育成できたとは言えない。今後は、教育活動全般（授業・集会・問答ゲーム等）を通じてコミュニケーション能力の育成を目指したい。
	7	保護者	お子さんは、元気に楽しそうに学校へ通っている。	92%	91%		3.4	3.4		
	7	地域	八代中の生徒は、元気に楽しそうに学校へ通っている。	92%	90%		3.0	3.2		
	8	教師	様々な活動で、議論したり、競い合ったりして、お互いに高め合う生徒の育成に努めている。	90%	76%	↓	3.2	2.8		
	8	生徒	八代中の生徒は、様々な活動で、議論したり、競い合ったりしながら、お互いを高め合っている。	88%	87%		3.2	3.3		
	8	保護者	八代中の生徒は、様々な活動で、議論したり、競い合ったりしながら、お互いを高め合っている。	86%	89%		3.1	3.1		
	9	教師	生徒は時と場に応じたさわやかな挨拶をしている。	55%	72%	↑	2.6	2.8		
	9	生徒	学校や地域で、時と場に応じてさわやかなあいさつをしている。	91%	92%		3.3	3.4		
	9	保護者	八代中の生徒の挨拶は、爽やかである。	77%	72%		3.0	2.8		
	9	地域	八代中の生徒の挨拶は、爽やかである。	75%	90%	↑	2.9	3.1		
【学年・学級活動】	10	教師	自発的・自治的な学級活動や生徒会活動を推進している。	75%	94%	↑	2.8	3.1		○教師の評価が上昇 ○今年度は生徒会活動を中心に生徒の自律・尊重を目指し、主体性を大切に活動意識している。今後は、生徒会本部役員が全体へ語り、全校動かしリーダーシップを育成したい。
	10	生徒	学級活動や生徒会活動に自主的、積極的に取り組んでいる。	81%	84%		3.1	3.2		

## 令和5年度 八幡浜市立八代中学校 学校評価表

\* 「よくあてはまる」と「ややあてはまる」の割合を肯定率とする。分からない・回答できないは、分母に含まない。  
 \* 平均値は、「よくあてはまる→4 ややあてはまる→3 あまりあてはまらない→2 全くあてはまらない→1」として計算

	NO	対象	令和5年度(前期)項目	R4後期 肯定率	R5前期 肯定率	比較	R4後期 平均	R5前期 平均	比較	分析と対応	
【教育活動】	11	教師	ふるさと教育やキャリア教育を推進し、夢と希望を持ち、目標に向けてチャレンジする生徒の育成に努めている。	80%	100%	↑	2.9	3.1		○昨年同様、保護者の評価が特に低い。 ○この項目については、夢や希望を語り、楽しく働いたり、生き生きと活動したりする大人(教師・保護者・地域ともに)が重要であると考えている。学校では教師がよきロールモデルとなることを大切にしたい。	
	11	生徒	将来の夢や希望を持ち、目標に向けてチャレンジしている。	77%	83%		3.1	3.3			
	11	保護者	お子さんは、将来の夢や希望を持ち、目標に向けてチャレンジしている。	70%	66%		2.9	2.8			
		12	教師	思いやりの心を育む道徳教育を推進している。	95%	94%		3.3	3.1		
		13	教師	特別支援学級と通常学級との交流が効果的に図れるよう、場の設定や活動の工夫に努めている。	75%	89%	↑	2.9	2.9		○個に応じたきめ細やかな特別支援教育がなされている一方で、教育課程の編成が複雑になっており、持続可能な教育活動の在り方を検討する必要がある。
		14	教師	人権感覚を高め、差別解消への実践力を育てることに努めている。	95%	100%		3.4	3.1		○今後も教職員で共通理解を図り、積極的な生徒指導や人権・同和教育に努め、多様性を受容し、他者を尊重できる生徒の育成を目指したい。
【学力向上】	15	教師	基礎・基本の徹底と、分かる授業の実践に努めている。	100%	100%		3.5	3.2		○教師→生徒→保護者の差が大きい。 ○引き続き「分かる授業の実践」と「生徒の主体性を重視した授業展開」に努める。 ○評価を基に、教師の授業改善、生徒の学習改善に生かせる校内研修を実施する。	
	15	生徒	授業の内容が分かり、基礎的・基本的なことが理解できている。	85%	87%		3.2	3.2			
	15	保護者	お子さんは、授業を通して、基礎的・基本的な内容が身に付いている。	68%	68%		2.8	2.8			
		16	教師	生徒は自主学習に励んでいる。	80%	80%		2.8	2.8		○保護者の評価が低い ○主体的に学習に取り組む自主学習ノートというより、「提出すること」が目的になっている生徒が多いと感じる。自主学習の目的を生徒と共有し、主体性を高めつつ、個々の学力に応じた支援や取組を目指したい。
		16	生徒	自主学習に励んでいる	78%	80%		3.1	3.2		
		16	保護者	お子さんは、自主学習に励んでいる	68%	59%	↓	2.8	2.7		
		17	教師	生徒は粘り強く学習に取り組んだり、学習方法を工夫したりしている。	85%	88%		2.9	2.9		○生徒、保護者の評価が一番低い項目。今後の課題。 ○評価を基に、生徒の学習改善に向けた指導や支援を行う。 ○家庭や学校において、自己決定を重視した声掛けを行い、主体性や自己肯定感を高める支援を行う。
		17	生徒	粘り強く学習に取り組んだり、学習方法を工夫したりしている。	76%	76%		3.0	3.1		
	17	保護者	お子さんは、粘り強く学習に取り組んだり、学習方法を工夫したりしている。	61%	51%	↓	2.8	2.6			
	18	教師	豊かな専門性を身に付けるために、校内研修や自主研修に積極的に参加している。	100%	100%		3.6	3.1		○高い評価	
【生徒指導】	19	教師	生徒の安全対策に努めている。	100%	100%		3.5	3.4		○朝や放課後の登下校指導や長期休業中の校区巡視を行い、気になる生徒には声掛けや指導を行っている。 ○全体的に評価は高いものの、自転車の転倒が数件あった。また、自転車乗車時に、ヘルメットを被らなかつたり、あごひもがきちんとできていなかったりするなど、安全意識の低い生徒が見られる。なぜヘルメットをきちんと被らなければいけないのか、生徒に考えさせる機会を設定したい。	
	19	生徒	登下校や自転車に乗るとき、事故がないよう、安全に気を付けている。	97%	96%		3.7	3.7			
	19	保護者	学校は、生徒の安全確保に努めている。	93%	95%		3.3	3.2			
	19	地域	学校は、生徒の安全確保に努めている。	100%	100%		3.3	3.4			
		20	教師	部活動の重要性を認識し、たくましい心身の育成に努めている。	95%	100%		3.4	3.3		○今年度から生徒指導通信「キャッチボール」を発行し、学校の課題と指導の方向性を保護者に発信している。今後も、様々な機会を生かし、保護者や地域へ生徒指導に関する理解と協力をお願いする。 ○トラブルに関しては、生徒に当事者意識を持たせる指導を大切にし、家庭を含めたチーム学校を意識して、丁寧で迅速な対応を心掛けたい。
		20	生徒	部活動に意欲的に取り組んでいる。(取り組んでいた。)	92%	93%		3.6	3.7		
		20	保護者	お子さんは、部活動に意欲的に参加している。(していた。)	94%	94%		3.5	3.6		
		21	教師	家庭・地域・諸機関との連携を深め、積極的な生徒指導に努めている。	95%	100%		3.1	3.2		
		21	保護者	学校は、生活指導において、家庭との緊密な連携ができています。	87%	83%		3.1	3.1		
		21	地域	学校は、生活指導において、家庭との緊密な連携ができています。	89%	91%		3.2	3.3		
	22	教師	黙々と取り組む清掃を通し、心を磨く清掃を推進している。	95%	65%	↓	3.3	2.8		○教師の評価が最も低い項目である。 ○清掃指導が今年度の課題の一つである。教職員の生徒に対する清掃指導を充実し、掃除の質を向上させたい。また、委員会ともタイアップし、生徒の主体性を重視した取組を進めたい。	
	22	生徒	黙々と取り組む清掃を通し、心を磨く清掃に取り組んでいる。	93%	92%		3.5	3.5			
【総務】	23	教師	ICTを授業で積極的に活用し、協働的・探究的な学びを目指している。	55%	94%	↑	2.7	3.2		○研修等の実施により、教員のICTを活用した授業実践への意識が高まっている。	
	24	教師	仕事のやりがいを重視しつつ、時間外勤務が長時間にならないよう意識改革に努めている。	90%	67%	↓	3.4	2.7		○昨年と比較し、退勤時刻は全体的に早くなっているが、公務分掌等による個人差がある。学年部や分署組織で業務の負担を分担するなど工夫が必要である。	